

第二節 県内公共図書館の活動状況はどうであつたか

県内の公共図書館は、福島県立、郡山市、会津、白河市立、須賀川市、内郷市立、磐城市立、福島県教育調査研究所の各図書館及び図書館の運営をされている平市平、相馬市、喜多方市、常磐市湯本、田島町の各公民館等数えられるが、各館はそれぞれ内容の充実と図書館活動に活発な動きをみせている。

以前は利用者が一部に限られ、多くの市民は何か手の届かないような感じのもののように思われていたが、それぞれ館自体が生活に役立ち市民の生活の中に生きようと真けんな努力をされ、地域の実態に即した運営がなされておる。

さらに県内図書館事業の発展をはかるため、これらの図書館及び公民館で組織されている福島県公共図書館協会は、昭和二十五年に発足以来堅実な歩みと活動をしてきた。会員数少く、予算の僅少にもかかわらず、三十年、三十一年の両年度においては飛躍的に事業を推進し、図書館活動の進展と図書館職員の研修とに寄与してきた。

次にその事業の概要を掲げる。

昭和三十一年度県内公共図書館の活動状況

福島県立図書館
福島県公共図書館協会
監事会 於県立図書館

- 1 昭和三十年年度決算監査 (四月十四日)
- 2 事業実施状況
- 3 常任評議員会 於相馬市公民館監査 (五月六日)
- 4 昭和三十年年度事業実施報告
- 5 決算報告
- 6 庶務決算監査概況報告
- 7 昭和三十一年度事業計画
- 8 歳入歳出予算
- 9 総会、大会運営について
- 10 第四回県図書館大会 於相馬市中村第一中学校 (五月七日)
- 11 協議事項
 - 1 全国市立図書館長会議について
 - 2 設置基準の改正と国庫補助の増額について
 - 3 図書館資料の選択提供の自由を守るため図書館、公民館の態度について
 - 4 図書館専門職員を含む社会教育機関の専門職の身分保障制度の確立のため速かに法規を改正せられたい
 - 5 分館運営について
 - 6 昭和三十一年度の方針施策を具体的に明示せられたい
 - 7 図書館施設の充実について
 - 8 公民館図書部の育成強化について
 - 9 図書館施設に対してラジオ聴取料及びテレビ受信料の免除について
 - 10 県立図書館建築促進について
 - 11 司書教諭、司書、司書補講習会開催について
- 12 承合事項
 - 1 学校図書館と公共図書館との連絡提携について
- 13 第八回県公共図書館総会 於相馬市中村第一中学校 (五月八日)
 - 1 報告事項
 - 1 昭和三十年年度事業実施報告
 - 2 決算報告
 - 3 庶務決算監査概況報告
 - 4 第七回県公共図書館総会経過報告
 - 2 役員一部改選
 - 1 飯野次郎
 - 2 高木長年
 - 3 大村武一
 - 3 監事
 - 1 飯野次郎
 - 2 高木長年
 - 3 大村武一
 - 4 協議事項
 - 1 昭和三十一年度事業計画
 - 2 歳入歳出予算
- 14 製本講習会 於須賀川市図書館 (七月七日)
 - 1 製本の過程
 - 2 製本の呼称
 - 3 製本の実習
- 15 研究会集「読書指導」について 於会津図書館 (七月九、十日)
 - 1 読書指導について
 - 2 公共図書館の読書指導と学校図書館の行う読書指導とどのような関連を持たせるか
 - 3 右のために読書指導の計画をいかたてるべきか
 - 4 読書指導の評価の項目をいかにきめるべきか
 - 5 学校図書館と、公共図書館別にきめて共通なものを見出す
 - 6 読書指導を妨げているものは何か
 - 7 公民館図書部の充実について
 - 8 A 図書館活動と公民館図書部活動をいかに協調しているか
 - 9 B 図書館と公民館の情報交換をどのようにしているか
 - 10 C 公民館図書部指導についての組織をどのようにしたらよいか
 - 11 その他
- 16 公共図書館、公民館職員講習会 於福島市 県青年館 (七月三十、三十一日)
 - 1 福島県の県政
 - 2 読書の心理
 - 3 社会教育関係団体と図書館
 - 4 郷土の歴史
 - 5 教育の諸問題
 - 6 その他
- 17 製本講習会 於相馬市中村第一中学校 (八月十日)
 - 1 製本の過程
 - 2 製本の呼称
 - 3 製本の実習
- 18 研究会集「読書普及並に指導について」 (九月十、十一日)
 - 1 図書館活動における読書普及の実